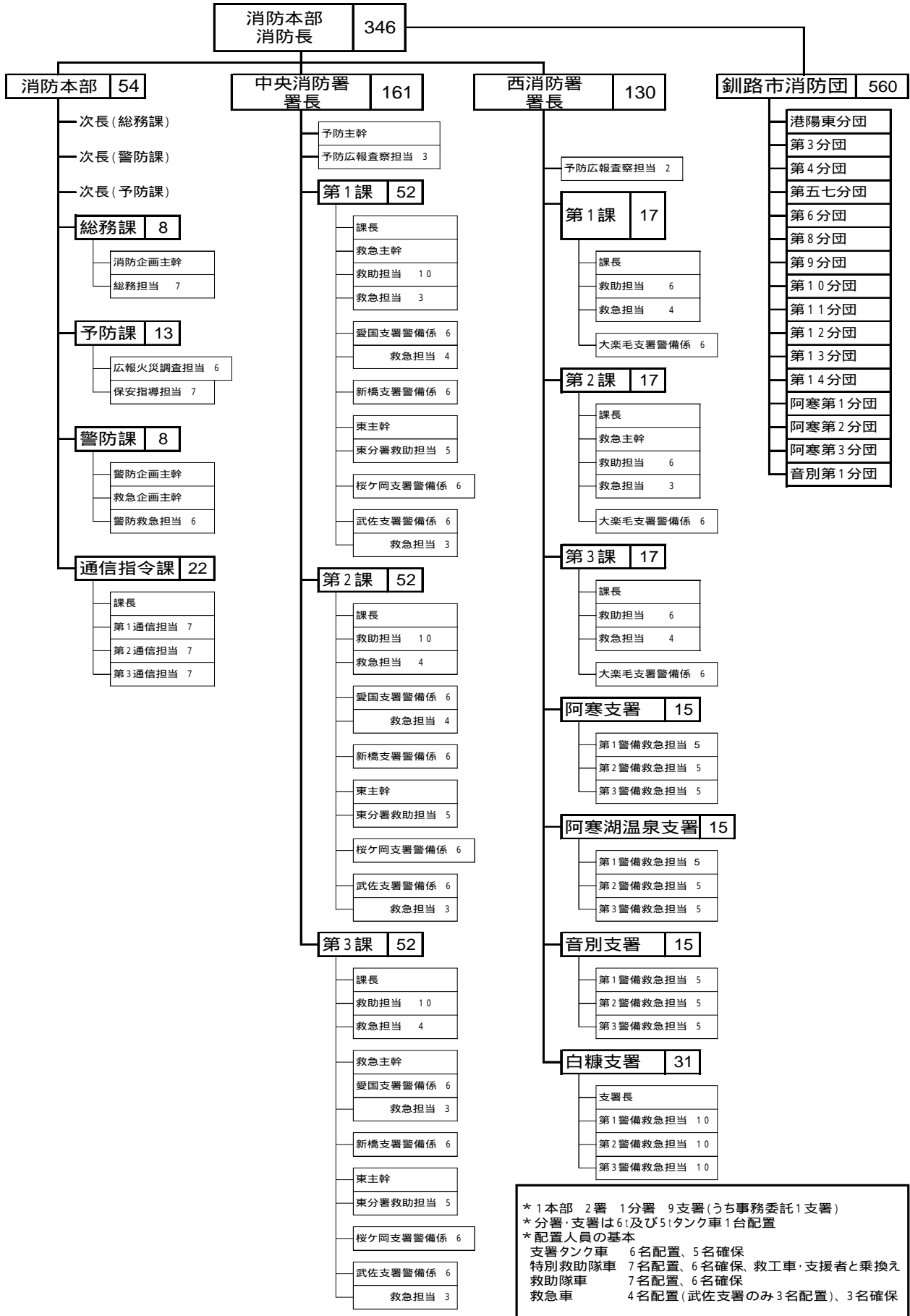


総務編

1 消防本部・署・支署の所在地

	所在地	電話番号	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	構造	建築 年月日
消防本部	釧路市南浜町4番8号	22-2156	1,670.63	5,766.34	鉄筋コンクリート造 4階建	平成 9.6.4
消防団本部	" "	23-0424	"	"	"	"
中央消防署	" "	23-0430	"	"	"	"
新橋支署	" 新橋大通3丁目1番6号	22-0353	213.03	303.03	コンクリートブロック造 一部2階建	昭和 46.7.15
愛国支署	" 愛国東4丁目36番12号	37-2422	328.05	328.05	鉄筋コンクリート造 平屋建	昭和 55.12.20
東分署	" 千歳町3番13号	41-5646	701.79	829.29	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和 52.12.21
桜ヶ岡支署	" 桜ヶ岡4丁目3番30号	91-6455	298.34	398.96	鉄筋コンクリート造 一部2階建	昭和 57.12.13
武佐支署	" 武佐3丁目1番25号	46-3453	365.31	430.11	木造モルタル造 一部2階建	昭和 49.11.15
西消防署	" 鳥取南4丁目4番22号	51-1658	538.8	648.5	コンクリートブロック造 2階建	昭和 46.12.1
大楽毛支署	" 大楽毛2丁目4番16号	57-4808	329.67	329.67	木造モルタル造 平屋建	昭和 50.12.1
阿寒支署	" 阿寒町北新町1丁目5番1号	66-3350	436.7361	619.5247	鉄骨造 一部2階建	昭和 49.12.15
阿寒湖温泉 支署	" 阿寒町阿寒湖温泉3丁目8番1号	67-2702	884.027	1,317.65	鉄筋一部コンクリート 2階建	平成 3.2.5
音別支署	" 音別町中園1丁目78番地	(01547) 6-2519	611.08	1132.55	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 19.7.1
白糠支署	白糠町東1条南3丁目2番地20	(01547) 2-2053	479.42	949.43	鉄骨造 2階建	昭和 45.12.
釧路市消防団 港陽東分団	釧路市弥生2丁目1番33号	41-4741			旧東栄小学校の一部を 使用	
釧路市消防団 第3分団	" 千歳町3番13号	41-5646			東消防署に記載	
釧路市消防団 第4分団	" 緑ヶ岡1丁目21番1号	41-3297	283.99	499.42	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 11.12.
釧路市消防団 第五七分団	" 黒金町7丁目5番	22-5089	141.75	232.47	木造モルタル造 2階建	昭和 46.1.
釧路市消防団 第6分団	" 新富町9番20号	22-3775	278.64	411.48	木造モルタル造 2階建	昭和 51.11.
釧路市消防団 第8分団	" 新栄町10番16号	22-4255	238.14	342	木造モルタル造 2階建	昭和 46.7.
釧路市消防団 第9分団	" 鳥取大通1丁目5番4号	51-5376	181.5	363	木造モルタル造 2階建	昭和 40.7.
釧路市消防団 第10分団	" 武佐3丁目1番25号	46-3454			武佐支署に記載	
釧路市消防団 第11分団	" 桜ヶ岡4丁目3番30号	91-4131			桜ヶ岡支署に記載	
釧路市消防団 第12分団	" 大楽毛4丁目6番2号	57-8150	151.2	270.81	木造モルタル造 2階建	昭和 42.10.
釧路市消防団 第13分団	" 山花14線141番地	56-2508				
釧路市消防団 第14分団	" 桂恋172番地	91-6807			旧桂恋小学校の一部を 使用	
釧路市消防団 阿寒第1分団	" 阿寒町仲町2丁目6番23号		117	117	鉄骨造 平屋建	昭和 58.12.12
釧路市消防団 阿寒第3分団	" 阿寒町徹別市街本通2丁目		117	117	鉄骨造 平屋建	昭和 60.11.28
釧路市消防団 阿寒第2分団	" 阿寒町阿寒湖温泉3丁目8番1号				阿寒湖温泉支署に記載	
釧路市消防団 音別第1分団	" 音別町中園1丁目78番地				音別支署に記載	

2 消防の機構



3 消防職員の人員・平均年齢

階級等 区分	合計	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	事 務 吏 員
現 在 員	346	1	4	21	51	108	85		73	3
平均年齢	41.7	59.0	56.5	57.0	54.9	49.3	34.3		24.4	40.3

4 職員定数の状況

平成21年度定数	増 減 数			平成22年度定数
	減 員	増 員	差 引	
349人	3	-	3	346人

は減少を示す。

5 消防本部・署・支署の人員配置

階級等		合計	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員
区分											
合計		346	1	4	21	51	108	85		73	3
消防本部	小計	55	1	2	4	9	16	16		4	3
	消防長	1	1								
	総務課	9			1	2	1	1		1	3
	予防課	14		1		2	4	6		1	
	警防課	9		1	2	2	3	1			
	通信指令課	22			1	3	8	8		2	
中央消防署	小計	161		1	9	22	46	36		46	
	中央消防署	50		1	5	5	12	14		13	
	新橋支署	18				3	7	4		4	
	愛国支署	30			1	5	9	4		11	
	東分署	18			3		6	7		2	
	桜ヶ岡支署	18				3	6	2		7	
	武佐支署	27				6	7	5		9	
西消防署	小計	130		1	8	20	45	33		22	
	西消防署	36		1	4	5	10	4		12	
	大楽毛支署	18				3	7	4		4	
	阿寒支署	15			1	2	4	5		3	
	阿寒湖温泉支署	15			1	2	6	5		1	
	音別支署	15			1	2	6	6			
	白糠支署	31			1	6	12	9		3	

6 消防職員採用・退職・昇任

階級等 区分	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務 吏員	計
採用								14		14
再任用								2		2
退職	1	4	4	6	5					20
昇任	1	4	7	11	12	14				50
派遣等(入)					2				2	4
派遣等(出)					1					1

再任用は短時間勤務職員のため、二人一組で1名としている

派遣等には消防本部と市長部局との出入や、北海道への派遣等を含む

7 消防財政

釧路市の消防は社会環境の変化、都市構造の変貌に伴い、年々複雑多様化する災害に対処するため、消防力の充実強化を図っているところである。

平成22年は、緊急消防援助隊合同訓練(全国及び北海道・東北ブロック)への消防車両と職員派遣や、高規格救急自動車の更新配置や消防団用小型ポンプの更新をするなど設備の充実を図っている。

また、消防職団員の教育機関への入校や講師派遣、他部局間との人事交流を実施、人材育成を積極的に推進し、各種災害に的確に対応できるよう万全を期しているところであり、これに要する経費は次のとおりである。

(1) 過去3カ年度消防費当初予算額

区分 年度	市一般会計 予 算 A (千円)	消防予 算 B (千円)	B/A × 100 (%)	市民一人当たり の消防費 (円)	市民一世帯当 たりの消防費 (円)
H20	95,100,000	2,885,164	3.0	14,509	29,565
H21	96,250,000	2,992,049	3.1	15,229	30,640
H22	99,600,000	2,928,383	2.9	15,773	31,396

(2) 年度別消防予算

区分 年度	予 算 額 (千円)				
	当初予算額	内 訳			
		常備消防費	非常備消防費	施設費	人件費
H20	2,885,164	233,798	111,458	119,908	2,420,000
H21	2,992,049	202,351	102,411	97,992	2,589,295
H22	2,928,383	200,638	101,892	117,125	2,508,748

